

## 新発田市立第一中学校生徒

### 就業体験!

去る十月十五日(水)く

二十一日(火)まで、新発田市立第一中学校生によるインターンシップが実施され、市内協力企業七十八社に、生徒百二十六名が就業

体験を行いました。

その中の割烹魚喜久では、宴会会場の準備や後片付け、十月三十一日(金)まで開催されたおごっつおう祭りの手伝い、会場清掃などの

就業体験を行いました。

今回体験した生徒からは「仕事の大変さがわかった」「慣れるまで時間がかかったが、慣れると楽しさや面白さがわかってきた」「今後の自分の役に立つことが多かった」など大変有意義な就業体験であったとの声が聞かれました。



就業体験を行う生徒

## まちカフェ Link オープン

敬和学園大学では、一、「地域商店街の活性化(まちづくり)への貢献」く交流空間づくり、二、「失われつつあるコミュニティの再形成に貢献」く地域ネットワークづくり、三、「学生たちの起業家精神の育成」く人づくりをコンセプトにして、市内諏訪町一丁目の空き店舗を利用して、まちカフェ「Link」を十月十五日オープンしました。通常の営業は敬和学園大学の学生が行っています。学生スタッフによると、店舗内のレイアウトは、学生同士で様々な議論をした上で決定し、どのような方が利用されてもゆつくりとくつろいでいたくために、



各席の間隔を広めに確保し、広々とした空間づくりを心がけたとのこと。また、お子さんと一緒のお客様のために、子ども用のアスレチックスペースを用意してあるので、お気軽にご利用くださいとのことでした。

営業日 月、水、土曜  
時間 10時～16時  
(土曜日 10時～12時)  
電話 二四一六五八八

## 復活

### 新発田十二高市

昔の朝市を再現

十月十三日祝日、敬和学園大学の新発田学研究センター及び学生が、新発田市と新発田商工会議所の協力を得て、「復活 新発田十二高市」を、歴史情緒を残す寺町で開催しました。

十二高市とは、かつて新発田で月十二回行なわれていた定期市のことで、古くは十返舎一九や吉田松陰ら江戸時代の文人も新発田を訪れ、「市」の賑わいを伝えていきます。今回は、敬和学園大学の神田より子教授とゼミ生たちが、街のにぎわい創出を主な目的として、「市」の復活を企画して、提案しました。

復活した「市」には、地元農産物、魚介類や敬和学



園大学学生が作った日本酒「わ」などを扱う十四店が参加しました。また、四ノ町台輪のお囃子、和田英夫さんの民族楽器の演奏、大学のチアリーダーの演技も披露され、様々な交流の場でもあった十二高市の往時をしのばせていました。今回のイベントは、定期開催に備えて、試験的に実施したもので、「今後も継続したいが、大学だけでは限界がある。市民の方々の協力がほしい。」と神田教授が話していました。